

みんないひと体験講座等申請書 (申込 ・ 変更) <記入例>

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会会長 殿

次のとおり、申請いたします。

学校 ・ 団体名 **相模原市立ふれあい中学校**

代表者 (学校長) **相 模 太 郎** 印

※太枠線のみ記入。

学校・団体名	ふれあい (小・ <input checked="" type="checkbox"/> ・高等) 学校	担当	あじさい <input checked="" type="checkbox"/> 先生 ・ PTA (男 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 女)
住所	相模原市中央区富士見6-1-20	電話	042(704)6275
FAX	042(786)6182	謝礼	<input checked="" type="checkbox"/> 有り ・ 無し
対象者	1年生165名+保護者 名	開催日	平成〇〇年 〇月 〇日 (〇)
開催時間	13:30~15:00 集合(13:15) 解散(15:30)		
講座内容	1 肢体不自由者の理解 25名 <input checked="" type="checkbox"/> 講話 25名 <input checked="" type="checkbox"/> 車いす体験 25名 <input type="checkbox"/> ハンディキャブ号体験 名 2 視覚障がい者の理解 100名 <input checked="" type="checkbox"/> 講話 100名 <input checked="" type="checkbox"/> 誘導体験 25名 <input checked="" type="checkbox"/> 点字体験 25名 <input checked="" type="checkbox"/> 録音体験 25名 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ 25名 3 聴覚障がい者の理解 40名 <input type="checkbox"/> コミュニケーションⅠ 名 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションⅡ 40名 <input type="checkbox"/> 講話のみ 名 4 高齢者の理解 <input type="checkbox"/> 講話 名 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座 名 <input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験 名 5 その他 <input type="checkbox"/> パソコンボランティア体験 名 <input type="checkbox"/> 災害ボランティア体験 名 <input type="checkbox"/> 盲ろう体験 名 <input type="checkbox"/> 福祉・介護のしごと出張セミナー 名 <input type="checkbox"/> その他 ()		
貸出のみ	<input type="checkbox"/> 車いす 台 ※20台まで貸出可 <input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験セット セット ※20セットまで貸出可 <input type="checkbox"/> アイマスク 枚		

講座コース	対応内容	講師名	連絡先

講師選定結果送信日 月 日

課長	係長	担当	合議	事前確認

※ 別紙の書式で開催要領を作成し、遅くとも**開催日の一ヶ月前**までに申請書と共にご提出ください。

※ ご不明な点等は、市社会福祉協議会 地域福祉係までお問い合わせください。

電話：042(704)6275 FAX：042(786)6182

Eメール：tiiki@sagamiharashishakyo.or.jp

みんないいひと体験講座開催要領

<記載例>

団体名（学校名）

相模原市立ふれあい中学校

担当者（教諭名）

あじさい花子

1 目的・学習のねらい

本校では、1年次において総合的な学習の時間や道徳の時間等で、福祉教育に取り組むことにより、今後生きていくために必要な人との接し方や他者への共感、協調性、課題追究の能力を育みたいと考えている。同時に、地域社会における自身の存在意義を確認し、他者との共存を図っていく能力、「生きる力」のみではない「共に生きる力」の形成のための学習を行うきっかけづくりとして、障がい当事者の体験談を踏まえながら、体験学習を行う。

2 学習計画（現在までの流れ・今後の活動計画）

今回の体験学習を踏まえ、生徒の興味がある分野ごとに学習を深め、課題認識を行っていく。
その後、課題解決のためにどのようなことを行えばよいのか、発表する場を設け、保護者などに見ていただく予定である。
そのなかで、必要である部分については学校外部に発表を行う。

3 内容・会場・当日の流れ

- 13:00 講師集合・担当教諭との最終打ち合わせ（1階 ○○室）
13:15 はじめの会（全体会）：体育館
13:30 体験学習開始：各講座は、先ず講話を20～30分程度聞いた後に、体験学習に入る。
（講話から体験へ10分程度の移動時間を含む）

□各講座の場所・人数・担当教員

講座	講話	体験	担当教員
肢体不自由者の理解	1階○○広場 (25名)	車いす体験(25名)：体育館周辺 ※雨天時は、体育館玄関付近及び屋根のあるスペースを使って実施	相模教諭
視覚障がい者の理解	体育館 (100名)	誘導体験(25名)：1-2教室 → 外	小栗教諭
		点字体験(25名)：1-3教室	中岡教諭
		録音体験(25名)：1-4教室	岩崎教諭
		スポーツ体験(25名)：体育館	田崎教諭
聴覚障がい者の理解 (コミュニケーションⅡ)	多目的室 (40名)	手話体験(20名)：	中川教諭
		要約筆記体験(20名)：	田島教諭

- 15:00 終わりの会（分会ごとに）
15:15 講師との反省会
15:40 解散

4 特記事項（要望・質問事項など）

生徒が興味を持つきっかけづくり、障がいのある方達の日常生活での困り感とそのことをサポートする市民の活動について、お話をお願いしたい。
事前学習用の教材・ビデオ等がありましたら紹介して欲しい。

※ 依頼書と共に**開催日の一ヶ月前**までにご提出ください。

※ 不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

市社会福祉協議会 地域福祉係

(TEL：042-704-6275、Eメール：tiiki@sagamiharashishakyo.or.jp)